

# 太陽光利用のサーバー

## 東京工科大 八王子の中小と開発

東京工科大学（東京・大田）は太陽光発電で全電力を賄うサーバーを東

京都八王子市内の中小企業と共同開発した。昼間に発電した電力を蓄電池にためておくことで停電時にも利用することができるとする。2012年1月に販売を始める。自治体や

政府関連機関などの防災用の需要を見込む。精密機器製造のソーバ

スなど5社と共同開発した。サーバーに太陽光発電パネル2枚を付けて計80ワットを発電。蓄電池にサーバーを16時間稼働させる電力をためる。無線通信機能もあり、2〜3ギガ

以上のコンピュータと通信できる。

八王子市や八王子商工会議所などは、市内にキヤンパスを持つ同大などの産学連携を進めている。東日本大震災による停電で、サーバーが使えなくなるケースがあったことから開発した。